



[活用事例 ②]

出戸浜の本やさん

明かりが灯ると、
場所への認識が変わる。
古書店が新たな目的に。



出戸浜を
年中人が訪れる
場所にしたい

廃れていくことを嘆くだけでは嫌だった

潟上市の出戸浜海水浴場といえば、海の家が立ち並び、海開きを迎えると、多くの家族連れが賑わう場所だ。この海の家エリアの一角に、令和5年10月、小さな古本屋さんがオープンした。その名も「出戸浜の本やさん」。店主の柳山めぐみさんは4年前に北秋田市阿仁合の「阿仁合の本やさん」の立ち上げに関わったメンバーのひとりだ。

柳山さんは秋田市出身。幼いころから親しんでいたお店や場所が、段々と減っていくことに漠然とした寂しさを感じていた。

そんな折、阿仁合の駅前に「阿仁合コミュン」という新たな場所が出来たことで、訪れるたびに少しずつ活気を取り戻し、変化していく様子に感銘を受けた。その運営を行う長谷川拓郎さんにこれまで感じていたことと、行動する側になりたいという思いを伝えたことが、「阿仁合の本やさん」の始まりだった。

新しい目的は場所の認識と人流を変える

阿仁合での取り組みを、自分が住んでいるエリアでも新たな場所を作りたいと次第に思うようになり、令和4年3月に活性化センターのよろず支援拠点を訪れ、開業相談を行った。コーディネーターに勧められ、手始めに自分の理想や思いを言葉で書き記す作業からスタート。目指す形が明確になったことが、その後の後押しに繋がった。

実際に開業してみると、予測していたよりも地元の人が多い。また、地元の人だけでなく、秋田市などからドライブがてら立ち寄ってくれる人もいる。出戸浜を訪れる理由を作ること、人の流れや場所の持つ認識を変えたいという柳山さんの思いは通じている。

訪れる地元の人との会話も楽しいと語る柳山さん。出戸浜へのそれぞれの愛着を教してもらいながら、夏以外にも出戸浜を楽しめるような仕掛けを考えていきたいと話す。新しい風と人の流れが、出戸浜に生まれている。



出戸浜の本やさん

店主
柳山めぐみ
Yanagiyama Megumi
〒010-0201
潟上市天王字下浜山
(出戸浜海水浴場内)



instagram

幅広い経営知識と高い専門性を有するコーディネーターが、相談者の課題を抽出し、解決を目指した提案に基づきチーム支援します。

ご自身の動機を大切にあなたためながら、事業をブラッシュアップ。課題を乗り越え、開店を実現されました。

コーディネーター 大森 麻美



[お問い合わせ]
秋田県よろず支援拠点
TEL. 018-860-5605



すぐ海が望める浜辺に、小さな古書店が佇んでいる。



本棚には様々なジャンルの本が並ぶ。阿仁合だけでなく、出戸浜への寄贈も増えている。



内装などは柳山さんと長谷川さんで行った。基本は無人で、オープンな空間づくりを心がけている。